

2025-26年度 第2650地区スローガン  
「未来へつなぐ」

第2650地区〔1961.3.28創立〕

**YAMATOTAKADA ROTARY CLUB**

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス [ytrotary@abelia.ocn.ne.jp](mailto:ytrotary@abelia.ocn.ne.jp)

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール  
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第36回(通算3076回)2026年(令和8年)5月26日号

本日の例会(5月26日)

「小鼓から紐解く奈良」  
能楽囃子方小鼓方大倉流十六世宗家  
大倉源次郎 様

次回の例会(6月2日)

委員長活動報告(1)

5月19日の例会報告  
会長の時間

いよいよ夏服が似合う季節になってまいりました。私どもの年度もあと2か月、例会で申しますと、本を入れて6回となりました。暑い中ですが、最後までよろしくお願いいたします。

今年度は65周年記念行事など、皆様のおかげでいろいろと無事に行うことができました。また、年度初めに危機管理委員会の設立を行うに際しても、皆様のご承認をいただき、先日は第1回の委員会を開くことができました。そして、最後に残っており現在も進めておりますのは、事務局の運営に関することです。就業規則の策定作業を現在行っております。まだ最終案の形にはなっておりませんが、いずれ皆様にお諮りいたしますので、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

さて、私が昨年7月に会長就任いたしました時点で、ウクライナ紛争はもう既に始まっておりました。そして、本年3月にはアメリカがイランを攻撃いたしました。今、世界情勢は大変不安定となっております。これにより日本においても、特に経済的な影響が大きく出ております。中でもエネルギー関係が最も深刻で、ガソリン価格や電気料金等に大きな影響を与えつつあります。皆様の会社、ご家庭でも、これから徐々に影響が現れてくるかなと思いますので、大変心配なことでございます。

この先、もし大きな影響を受けたときには、我々はロータリアンとして、職業奉仕を通じていかに貢献できるかということ、心の中に留めておかなければなりません。そのときは、我々は、節電・節約等を率先

するなど、ロータリアンとしての行動を取らなければなりません。そのときはよろしくお願ひしたいと思います。しかし私は、何も困難が起きないことを祈っております。

幹事報告

- ◎定例理事会のご案内  
5月26日(火)例会終了後  
今年度と次年度の合同理事会です。
- ◎委員会別情報集会のご案内  
5月19日(火)B班  
6月2日(火)C班

次年度幹事報告 藤井宏典次年度幹事  
本日、ロータリー手帳をお配りいたしました。クラブ概況報告書に掲載する写真の撮影ですが、本日(5月19日)が最終日です。きれいに撮影していただけますので、できれば一番新しい写真をご掲載ください。

ゲスト

坂本頼光様(活動写真弁士 卓話講師)

誕生日祝

黒松 健会員(5月23日)

結婚記念日祝

林田光治会員(5月20日) 安田志郎会員(5月22日)

ニコニコ箱

- ・活動弁士坂本頼光様をお迎えして。  
山田 博会員  
安田志郎会員
- ・結婚記念日祝を頂いて。  
安田志郎会員
- ・暑い日が続きますが、皆様、熱中症にお気をつけください。坂本様をお迎えして。  
木原常裕会員
- ・ニコニコに協力。  
東辻英郎会員
- ・連続欠席のお詫び。  
堀川巳清会員
- ・誕生日祝を頂いて。馬齢を重ねて77歳になりました。  
黒松 健会員
- ・皆様、暑さにお気をつけください。  
村野淳二会員
- ・結婚記念日祝を頂いて。  
喜多輝昌会員
- ・活動写真弁士の坂本頼光様、パワフルな舞台、よろしくお願ひします。  
清水良彦会員
- ・活動写真弁士の坂本様をお迎えして。  
上田麻子会員

4つのテスト〔言行はこれに照らしてから〕

1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか

**卓話 「活動写真の魅力を大公開」**



活動写真弁士 坂本頼光 様  
要するに活動写真というのは、昔の映画の呼び方でございます。写真が動いて見えるから活動写真と呼ばれていたんですね。大体、今から100年くらい前まではそう呼ばれていました。当時は音声がついておりませんでしたので、弁士という職業の人間がスクリーンの横に立って、登場人物の声から、物語のナレーションに至るまで説明をつけ、語りを添えておりました。これが活動写真弁士という職業でございまして、今では古典芸能のような形で残っているんですね。

本日ご紹介いただきました清水会員とお会いいたしましたのは、大阪の阿倍野で行われた、桂吉坊さんの公演に私がゲストで出演させていただいたことでした。そのときお客様でお越しただいていた清水会員に、今回、お声をかけていただいて、本日の卓話が実現しました。

奈良は、何しろ無声映画とはいろいろゆかりがございます。皆様は、坂東妻三郎さんをご存じかと思えます。代表作と言われているのは、『雄呂血』という時代劇ですね。これは1926年(大正15年)の作品ですけれども、この『雄呂血』を撮影していたのが奈良なんです。旗本退屈男の市川歌右衛門さん(北大路欣也さんのお父さん)が、当時、自分の撮影所を持っていたのが、あやめ池遊園地の辺りです。ですから、奈良は映画には非常にゆかりのあるところなんです。

昔の映画ですから、フィルムで撮影されています。皆様の中にもご記憶の方がいらっしゃると思いますが、マンホールの蓋ぐらゐもあります。大きいんですよ。上映するとなると、16mmとか35mmのフィルム、これを何巻も持っていかないとけない。映写機も持ってこなきゃいけない。映写技手も雇わなきゃいけない。大変なんです。今は私の足元に小型の映写機、プロジェクターがあります。この近距離で大きく映すことができます。そして、時代はデジタルですから、DVDプレーヤーで簡単に映るわけですね。とにかくコンパクトなんです。いろんなところで上映がかなうという、これは大変いい時代になったなと思えます。

本日最初にご覧いただきますのは、先ほど紹介いたしました坂東妻三郎の『喧嘩安兵衛』という時代劇です。昭和3年(1928年)の作品になります。忠臣蔵の四十七士の中に堀部安兵衛武庸(たけつね)という人がいたんですね。この堀部安兵衛は、主君の浅野内匠頭の仇を討つ8年前、元禄7年に、江戸は高田馬場で自分の叔父の仇も討っているんですね。生涯に2回仇討ちをしている。こっちの最初の仇討ちのほうを描いた時代劇でございます。

主役は坂妻でございますね。これは私がフィルムを骨董品屋で見つけまして、それをデジタル化

したものでございます。これを見ていただきたいと思えます。

皆さん、スクリーンのほうをご覧ください。私はこの横でしゃべる、これが活弁でございます。

(映画上映)

今、見ていただいたのが、現在残っております『喧嘩安兵衛』の最長版で、本当は1時間ぐらいの作品なんですけれども、今はこの部分しかございません。文化財みたいなものなんです。一回失われてしまうと、もう二度と戻るとはございません。

いろいろと持ってきておりますが、今日は30分しかございませんので、もう一本だけご紹介させていただきます。次は、坂東妻三郎と同時代から活躍されました片岡千恵蔵さんの作品です。片岡千恵蔵さんは長生きをされましたから、テレビなどでご存じかと思えます。例えばナショナル劇場の『大岡越前』では、加藤剛さん演じる大岡越前のお父さん、大岡忠高役でおなじみです。この方もお若い頃は無声映画のスターでございました。

本日は、昭和7年(1932年)の作品、『国士無双』をご覧ください。主演片岡千恵蔵、共演として山田五十鈴、伴淳三郎が出演しております。山田五十鈴はこの頃15歳でありました。

『国士無双』の国士というのは、その国に一人しか現れないような傑出した人物のことです。そして、無双、並ぶ者がいないという言葉です。ところが、この1人しかいないはずの人物が2人いるとどういうことになってしまうか。どっちかが本物、どっちかが偽物と、こういうことになります。だけど、本物と偽物の区別をどう見極めるか。それは、肩書だったり権威だったり、そういった包装紙に惑わされなくて、その人間の中身、実力をよく見定めよというような、ちょっと皮肉がこもっている作品かもしれません。

当時のキネマ旬報のベスト10で第6位というなかなか評価された映画でございます。監督は伊丹万作さんで、伊丹十三さんのお父さんです。伊丹十三さんは、宮本信子さんの旦那さんで、『お葬式』とか『マルサの女』とか、いろんな映画をお撮りになっていらっしゃいましたけれども、あの方のお父さんも映画人だったわけです。

(映画上映)



出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
5月19日	82	55	46	9	0	27	22	0	88.31%
5月12日	82	55	48	7	0	27	21	0	90.79%
4月28日	85	55	49	6	2	30	22	0	94.80%

※食品ロスの削減に努めましょう。(5月12日の弁当残数は5個)